

熊本地震並びに梅雨の大雨、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興することを心からお祈りいたします。

6月のぐちり庵塾は、午前の部の「子育て・孫育て」には、お母さんと娘さん2人が、午後の「きくこと・伝える事」には、2名の方が参加されました。「子育て・孫育て」では、BDを教材に妊娠出産を通して母親に起こる心と身体の変化についてと、育児において感じる不安やいらいらがなぜ起こるのかについて学びました。「きくこと・伝えること」では、日頃コミュニケーションをとる中で、どのような聞き（聴き）方や伝え方をしているのかを体験通して振り返りました。それぞれ感じたことを共有し、共感したり納得したり学びを深める場となりました。午前午後とも、参加された方々が、自分の思っていることや考えをしっかりと伝え合うことができたかなと感じました。

さて先日、ぐちり庵を利用された方から、はがきが届けられました。「カウンセリングを受けたことで、よい方向にものごとを考えられるようになりました。」と結んでありました。少しはお役にたてたのだとホッとするとともに、多くの方にカウンセリングを知っていただきたいなと強く感じました。

七月に入り陽射しもめっきり夏らしくなって参りました。熱中症にかかりやすい時期です。こまめに水分補給をし、しっかり栄養を摂り、十分な睡眠をとることを心がけてください。暑い熊本の夏を、元気に皆で乗り越えましょう。

園田照子



第7号平成28年7月7日発行

★休日営業

7月 9日 (土)

31日 (日)

★ぐちり庵塾

7月23日 (土)

予約不要！子連れ歓迎！！
駐車場有り！！

声 *ぐちり庵に来るようになって、明るくなりました。人から「明るくなったね」「変わったね」と言われます。

*理由や、理屈はわからないけれども、確実に心が楽になってきているのを実感しています。

事例集より 事例2 親子関係

数年前、妻と死別した男性。妻の死後、子どもとの会話がうまくいかないように感じている。自分の帰りも遅いので、会話もない。子どもの考えていることもわからずどう対応したらいいのか困っている。母親の代わりは同居の義母にやってもらっている。

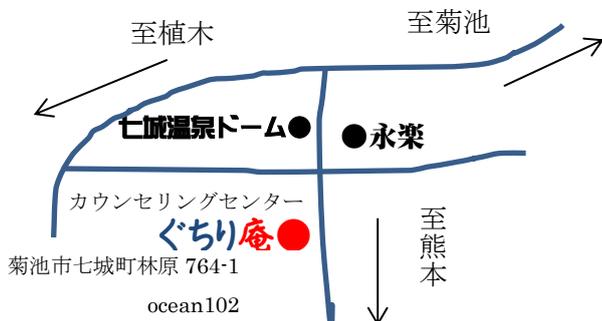
対応

日常のかかわりの様子を話してもらい、自分にとっての妻の存在、子どもにとっての母親の存在について話を聴いた。

- ・母親と父親の役割の両方を果たさなければならぬと思っていた。
 - ・妻の分まで頑張ろうと思うが、どう役割を果たすべきかがわからない。
 - ・どうしていいかわからないから、子どもに会わないようにしていた。
- ということに気づいた。

「子どもにとって母親の代わりになる者はいない。自分は、父親としての役割をしっかりと果たす。そのために、朝夕のあいさつを自分からする。仕事で夜遅く帰った時も、子どもが起きているなら必ず顔を見て声をかける。」と決めた。1週間後、「子どもと話ができるようになった。挨拶って大事ですね、親子の間でも。進路についても話していますよ。」と笑顔で話しに来てくれた。

◆事務長つれづれ日誌◆ この便りとチラシを多くの皆様に届けるために、日々、七城町を廻っています。その中で気づいたのは史跡が多くある事です。七つの城跡の他にも色々な史跡があります。人類700万年の歴史の中、どの辺りから七城の歴史は生れたのかな？などと想いを巡らしています。七つの城跡は菊池城の外城だと教えてもらいました。／ダイエットに取り組んで半年たちます。マイナス10kgですが、誰も気づいてくれません。自己申告すると、「わからなかった」という返事です。カウンセリングの勉強とダイエット足並みを揃えて進めます。大村幸江



カウンセリングセンターぐちり庵

代表 園田 照子

☎ 0968-41-6431 FAX 0968-41-6432

<http://www.guchirian.com>

info@guchirian.com

時間外予約専用 080-2797-4551

七城温泉ドームから熊本市方面へ300M(県道37号線沿い)

